

令和4年度第2回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件 名 令和4年度第2回滝沢市社会教育委員会議
- 2 日 時 令和5年2月20日（月）午前10時30分から正午まで
- 3 場 所 滝沢市役所2階201・202会議室
- 4 出席委員

委員14人のうち9人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

N o	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部教授	○
2	村上 四郎	副議長	滝沢市陸上競技協会理事	○
3	菅野 道生	委員	岩手県立大学社会福祉学部准教授	○
4	渡邊 博善	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
5	市村 康之	委員	滝沢小中学校長会（篠木小学校長）	○
6	太田 豊	委員	滝沢市自治会連合会副会長（姥屋敷自治会長）	○
7	土井尻たき古	委員	滝沢市地域婦人協議会副会長	—
8	高橋 雅寛	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	—
9	深澤 千春	委員	滝沢市PTA連絡協議会長（一本木中PTA会長）	—
10	佐々木 昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	—
11	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
12	佐藤 亮太	委員	滝沢市商工会青年部筆頭副部長	—
13	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会事務局長	○
14	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	○

※議事録署名人：渡邊博善委員、市村康之委員

5 出席職員

N o	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	久保 雪子	教育次長	—
3	朝岡 将人	生涯学習スポーツ課長	—
4	岡田 久美	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	細川 健一	生涯学習スポーツ課 総括主査兼社会教育主事	社会教育
6	横澤美保子	文化振興課 総括主査兼社会教育主事	図書館
7	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査	文化財
8	川又 健二	生涯学習スポーツ課 主任主査	スポーツ
9	大井創太郎	文化振興課 主任	文化芸術

## 6 会議内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 議事録署名人の任命

(4) 報告

- ・令和4年度社会教育事業の実施状況について（1月末現在）【資料No. 1】

(5) 協議

- ・令和5年度社会教育行政の方針と計画（案）について【資料No. 2～3】
- ・令和5年度社会教育関係等団体に対する補助金の交付について【資料No. 4】

(6) 閉会

## 7 質疑応答など

委員 新たに市指定天然記念物に指定される見通しとなっている「カワシンジュガイ」は市内全域に生息していますか。「カラスガイ」と同様のものですか。

事務局 市内全域の河川6ヶ所に生息しています。同じ2枚貝ですが「カラスガイ」とは別種となります。絶滅危惧種とされ岩手県内でもほぼ絶滅しており、岩泉町と野田村でも指定天然記念物となっています。全国的にもほぼ絶滅しており、長野市でも指定されているとのこと。

委員 市埋蔵文化財センターが市内中央部などに移転すれば、もっと活用促進につながるのではと考えています。

事務局 市埋蔵文化財センターが現在の場所にあるのは、湯舟沢環状列石の所在地であることが理由です。また、出前講座を実施しているので土器などを持っていくことは可能です。

委員 滝沢市で生まれ育ったアスリートたちの活躍が目覚ましく、学校教育の充実が競技スポーツ振興にも反映されているものと感じています。パラスポーツのボッチャセットについてお教えいただけますか。

事務局 令和2年度に24時間テレビ実行委員会より市教育委員会に対してボッチャセットを二つ寄付されました。ゴールボールセットも同様に寄付されましたので希望者への貸出や市スポーツ推進委員活動にも活用しています。

委員 私は市内居住の外国人を対象とした日本語教室にも携わっています。滝沢市内の夜間中学校の生徒数などをお教えいただけますか。

事務局 夜間中学は東北では仙台市などにありますが、岩手県内にはございません。不登校などで就学していないことから、もう一度勉強をやり直したい人の希望調査を県内でも行っていますが希望者はないことから設置をしていません。全国的な傾向を見ますと、夜間中学は無料でもあることから、外国からいらした人の日本語学校的なものになっているようです。9年ほど前に岩手県においても夜間中学設置に関する会議が行われましたが前述のとおり設置しておりません。

委員 市埋蔵文化財センターや湯舟沢環状列石の入口が分かりづらいので、案内板が県道16号線にあればと思います。

事務局 実は案内板はありますが、分かりづらいようですし目に付きにくいようでもあります。

委員 他県にいる孫から連絡があり、たきざわエール便が届いて、とても喜んでいました。滝沢市の素晴らしさをPRする良い取り組みであると思います。

事務局 たきざわエール便は、市観光物産課で取り組んでおり滝沢市の魅力を多くの皆さんに知ってもらうチャンスですのでご活用いただければ幸いです。

委員 小中学生が関わっている社会教育事業が約20近くあるのではと思います。学校としても社会教育との関わりは重要と考えていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

委員 コロナ禍ではありますが、岩手山青少年交流の家においても事業を少しずつ再開しておりますし、市生涯学習スポーツ課主催による小中学生を対象とした二つのセミナーにおいても当施設をご活用いただきありがとうございます。本年10～11月ごろに設立50周年式典を予定していますので、追って皆さんにもご案内させていただく予定です。

委員 岩手県立大学の学生が滝沢市の地域活性化などにおいてもお役に立つことができており感謝申し上げます。社会教育や公民館活動においても大学との連携・協働がとても重要と考えています。滝沢市の社会教育などにおける財源確保についてお教えいただけますか。

事務局 滝沢市内には陸上自衛隊岩手駐屯地が所在していますので東北防衛局による補助金・交付金を活用しながら事業展開を図っております。特に、スポーツ施設のバリアフリー工事において有効活用させていただいております。

事務局 今後、市指定無形民俗文化財や市指定天然記念物の指定が決まりましたら新たな予算要求などを検討して参ります。

委員 今年度は、市民体育祭を前期・中期・後期と全て実施できました。コロナ禍前に比べるとまだ参加者数は少ないですが、段々と回復するのではと思っています。私はチャグチャグスポーツクラブで陸上競技を行っていますが、子どもたちからシニア世代まで幅広い世代を対象に盛んに行われているのではと感じております。滝沢市のスポーツが盛んであることを数字で分かりやすく示す指標があれば良いのではと思います。

事務局 体育施設の利用者人数など分かりやすい指標をお示しできればと考えております。